

いう時期もありました。そんな自分には医師は向いていないと思いついたこともありました。

高校二年の冬、体育のサッカー授業で骨折して六カ月入院。身近に接する医師が格好良く見えました。あとは医学部目指して…。

藤井 勉強、勉強（笑）。

西里 初めて胃内視鏡検査を行った時の緊張感とうまくやり遂げた達成感。鮮明に覚えてます。あの初心は忘れたくないと思っ

ています。医師国試に合格して、医師になって間もないとき、日鋼記念病院で当直の夜に、猫に齧られた獣医が運ばれて来ました。札幌大が研究内科（現在の第四内科）の内科医師ですが、小外科のトレーニングもしています…。藤井 今なら考えられませんが、当時はいろいろ経験されましたよね。

西里 無事、治療を終えると、その獣医は急いで帰宅されました。「治療途中の猫が待っている」と言い残して（笑）。獣医さんも大変だと思われましたね。

そんな毎日の連続で、患者が来るのと、自分が覚えるのと、どちらが先かなんて必死にならなくて学びました。

藤井 皆、ギリギリの状況の中で、頑張って

いましたよね。

西里 貴重な経験でしたね。当時懸命に作った治療サプノートは、大切に保存しています。

### ●86歳の母の自立とPCU（緩和医療病棟）

藤井 最近の、嬉しかったこと、楽しみなことを教えてください。

西里 江差で母が元気で暮らしています。今年の正月もバスと列車を乗り継いで札幌の家を訪ねてくれました。八十六歳、耳は少し遠くなりましたが、江差で一人暮らしをする、母の気丈さに勇気をもらっています。



スタッフの家族同士で楽しむ親睦キャンプを毎年実施。子供達は成長するに従って不参加が増え、少々寂しい。写真中央が私。子供達ばかり写っている理由は、大人たちは酔い潰れてテントで寝ているから

藤井 私の父は八十三歳で、八十一歳になる母を老老介護しています。「介護は大変です」という患者さんの言葉を実感を持って聞くことができません。

西里 症状だけでなく、患者さんの不安や悩みを聞いてさしあげる時間ももっと欲しいです。

当院（清田病院）は消化器病とがんの施設で、今までに千三百人の患者さんが亡くなっています。がんの患者さんが多いのですが、現在、PCU（緩和医療病棟）開設の準備を進めています。患者さんにとってより一層理想的な緩和医療を提供したいと考えています。

### ●釣り堀と、産直農家探し

藤井 ご趣味は何ですか。

西里 去年から、家の近所（徒歩5分）にある釣り堀でニジマス釣りを楽しんでいます。今の夢は、ワンカップとおにぎり、魚肉ソーセージを持ってカレイ釣りに行くのが夢です。

余暇ができると、ドライブを兼ねて藤野周辺の産直農家を巡りトウキビ、トマト、枝豆、果物などを分けていただいています。小規模農家が多いのですが、おのおの得意・不得意があり個性があつて楽しいです。

## インタビューを終えて

### 沈着冷静な『無事これ名馬』

常任理事

藤井美穂

好きな言葉を何うと『無事これ名馬』。「トラブルなく一日一日を過ごせることが何よりです」と静かにおっしゃる。

毎日、「無事」でいらつしやいますか？と申し上げると、そうはうまくいかないのが、座右の銘が必要となるんです。無い物ねだりとは分かっています。斯く有りたいと願望するのですと、西里先生こそ得意即妙でユーモアたっぷりでした。

●純粋な57歳なんて、いるのかな？

西里 藤井先生からインタビュウを受けるのは、緊張します。

藤井 理事会ではいつも、きっちりとした報告をされているので、私のほうこそ緊張していません(笑)。

西里 アドリブが苦手なんです。一度整理したうえで文章にしてからお話ししないと不安で。藤井先生の臨機応変・当意即妙なのには感心しています。

藤井 ありがとうございます(笑)。

西里先生は江差町のご出身ですが、私、実は



生年月日 昭和25年11月15日  
出生地 江差町  
出身大学 札幌医科大学 昭和52年卒  
第四内科  
好きな言葉 無事これ名馬

西里 子供の時に、山車に乗って沿道の大人からお菓子を貰うのが楽しかった。  
藤井 子供の頃のお話しをお聞かせください。  
西里 父親が教員でして、江差町周辺の田舎を転勤生活。川で泳ぎ、魚釣り、トンボや蝶を追いかけ、スキーや野兎獲りの罠づくり。  
藤井 ワイルドですね。  
西里 馬橋で通学したこともあり、澄み切った海で遊んだこと

札幌江差会・札幌医大江差会のメンバーとして。今から十九年前に出張医として道立江差病院で一年間過ごして以来、江差が大好き。江差追分の『ソイ』掛けも致しますよ(笑)。  
西里 北前船で運ばれて来たのでしょうか、人情も食べ物も北陸富山の気質に近いものがあって、十三世紀頃からの歴史と文化があって、江差町は独特な雰囲気があります。  
藤井 お祭りがとても素敵。山車というか、京都の祇園祭のような曳き山が十三台も出る。  
西里 江差姥神大神宮渡御祭ですね。三百六十年余の歴史があります。  
藤井 北海道最古のお祭りといわれていますね。

とが大切な思い出です。朝から暗くなるまで遊びました。

藤井 美しい江差で過ごされたなんて、うらやましいな。少年時代の夢を今もそのまま持っていていらっしゃる。西里先生のイメージは『純粋さ』ですね。



清田病院では、ターミナルケアや在宅ホスピスを学ぶために、毎年ハワイ実地研修に職員を派遣(92年、ハワイ・セントフランシスホスピス)

●初めての当直、猫に齧られた獣医が運ばれて来ました

藤井 医師になった動機と、新人ドクターになりたての頃のお話しをお聞かせください。  
西里 思春期というか中高生時代、当時は家庭に老人が同居しているのが普通で、お年寄りが家庭で息を引き取ることが多かった。近所で人が死ぬのを見るのは恐ろしい、堪えられないと

とが大切な思い出です。朝から暗くなるまで遊びました。